

～ 現場からの声を ～

新たな配置方針により
津市教員支援員を拡充

令和7年7月18日開催

第62回津市総合教育会議

1 津市教員支援員の現状

津市では教員の負担軽減を図るため、教員が負担軽減を実感できる支援策として、平成30年度から事務職や教育職の定年退職者（再任用職員）を津市教員支援員として、**国に先駆けて独自に配置**。長年培った行政経験を活かして教員を直接支援することで、教員が子どもたちと向き合う時間の確保に取り組んでいる。【令和7年度予算：1,878万円】

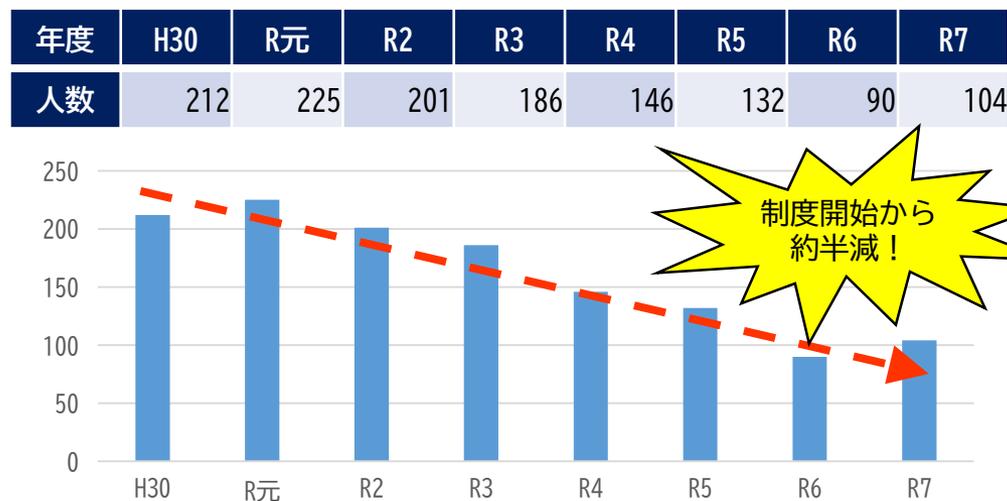
令和5年度の定年延長制度の開始に伴い、再任用職員の津市教員支援員としての配置が年々困難に！

【津市教員支援員の雇用形態別配置状況】

年度	再任用職員	会計年度任用職員	計	配置校
H30	4人		4人	4校
R元	7人		7人	11校
R2	8人		8人	16校
R3	9人		9人	18校
R4	10人		10人	20校
R5	9人	2人	11人	22校
R6	4人	6人	10人	20校
R7	3人	4人	7人	21校

【再任用職員（市全体）の推移】

（単位：人）



■再任用職員は、支援開始時（平成30年度）と比べ、定年延長の拡大により、令和7年度時点で約半減。今後もさらに減少するものと見込まれる。

■令和5年度より雇用期間が満了となった再任用職員を会計年度任用職員として採用し、人材確保に努めている。

2 教員業務支援員の現状（国1/3 県2/3）

教員業務支援員（スクール・サポ-ト・スタッフ）の現状

- 津市では、全校配置分として令和7年度は35,504時間が配当されている
- 津市では、学校の規模に関わらず、全校に一律の時間（300時間）を配分するとともに、それぞれの学校の状況に応じて追加配分している

【教員業務支援員（スクール・サポ-ト・スタッフ）の配置状況】

年度	配置数
H30	1人（1校）
R元	2人（2校）
R2	年度当初～ 24校（25人）・年度途中～ 46校（49人）
R3	全校配置（85人 配当時間36,666時間）
R4	全校配置（87人 配当時間35,861時間）
R5	全校配置（83人 配当時間35,740時間）
R6	全校配置（87人 配当時間35,238時間）
R7	全校配置（84人 配当時間35,504時間）

【教員業務支援員（スクール・サポ-ト・スタッフ）の業務の例】

業務内容
・ 授業で使用する教材等の印刷や物品の準備
・ 教材・資料の整理、保管
・ 宿題等の提出物の受け取り・確認
・ 小テスト等の採点
・ 学校行事・式典等の準備補助
・ 統計情報のデータ入力・名簿の作成
・ 電話対応・来客受付

3 津市教員支援員・教育現場への聞き取り結果

R7.4～ 津市教員支援員の業務内容、教育現場が望む支援内容等を把握するため、アンケート等を実施

津市教員支援員の主な意見

- 1人3校担当体制では週1日の勤務となる学校があり、当該校の状況が把握しにくく計画的な業務がやりづらい
- 人手を必要とする業務（印刷、教材作成、作品掲示等）は、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）と連携して業務を行うことが効果的である
- 小学校の場合、教員は学級担任制となるため、教室から離れることができず、子どもがいる時間帯に職員室に戻ってくるのがほとんどないが、中学校の場合は教員が教科担任制で職員室にいる時間があるので、教材の印刷等の事務作業も、教員自らが行う時間的余裕があるように感じる

教育現場の主な意見・アンケート集計結果

- 津市教員支援員が担当している業務のうち、約80%が教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）と同じ内容の業務
- 一部の学校では学校徴収金に係る事務の割合が50%以上
- 教員支援を行う人材として希望する人材は、「教員経験を有する者」と「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）と同等の業務経験を有する者」が、それぞれ約半数
- 小規模校は教材の印刷やテストの採点などの業務量自体は少ないが、教員1人に割り振られる校務（国、県からの照会等）が多く、小規模校ならではの負担感がある
- 小学校は中学校に比べて児童生徒数に対する教員の配置数が少ないため、教員支援の必要性が高い

津市教員支援員の業務

- 学校徴収金に係る事務に関する支援
- 学校運営等に関する相談・助言
- 授業の準備に関する支援
- 学校行事等の準備・運営に関する支援
- 調査・統計等に係る事務に関する支援
- その他学校長が必要と認める教員の事務に関する支援

4 聞き取り等から浮かび上がった課題・要望等

求められている人材

- 教員経験を有する者
- 教員業務支援員と同等の者
(スクール・サポート・スタッフ)

教員不足の現状から人材確保が困難

再任用職員や雇用期間満了の再任用職員を活用することで人材確保が可能

求められている業務

- 教員業務支援員と同等の業務
(スクール・サポート・スタッフ)
- 小規模校の校務支援

規模の大きい学校では、教員業務支援員の配置だけでは不十分

校務は教員が直接行うべき業務であり、津市教員支援員が担う業務には不適當

教員の負担軽減につながる支援策

教員支援業務に係るノウハウを持った人材の継続的かつ効果的な配置

現場からの
声を受けて

新たな配置方針により「津市教員支援員」を拡充！

5 今後の津市教員支援員の配置方針

1 教員1人当たりの事務作業が多い規模が大きい学校に配置

学校徴収金に係る事務や、教材の印刷などの事務作業量が多い、規模の大きい学校に配置することで、教員の負担軽減に効果あり！

2 担任以外の教員が少ない小学校に優先的に配置

学級担任制の小学校は、教科担任制の中学校より教員配置数が少ないため、教員は学校に子どもがいる時間帯に事務作業などを行う時間的な余裕がなく、津市教員支援員を配置することで、教員の負担軽減に効果あり！

3 学級数・児童数を踏まえて効果の大きい学校に配置

学級数・児童数の多い学校では、勤務条件が週18時間以内かつ1日当たり6時間以内に限定される教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)だけでは不十分。より長い時間の勤務が可能な津市教員支援員を配置することで、教員のさらなる負担軽減に効果あり！

6 津市教員支援員の配置想定校

小学校

- ① 25学級以上の学校（大規模校） 3校（週4日）
西が丘小・高茶屋小・南が丘小
- ② 19学級から24学級の学校 10校（週2日）
千里ヶ丘小・立成小・誠之小・新町小・一志東小・北立誠小・一身田小・成美小・一志西小・修成小
- ③ 児童数が350人以上の学校（①②を除く） 2校（週2日）
戸木小（18学級）・桃園小（17学級）

中学校

- 25学級以上の学校（大規模校） 1校（週4日）
久居中

津市教員支援員を16校に配置

【参考】学校規模の分類（文部科学省手引き参照）

規模	小学校		中学校	
	学級数	対象校	学級数	対象校
過小規模校	1～5学級	6	1～2学級	0
小規模校	6～11学級	19	3～11学級	9
適正規模校	12～24学級	20	12～24学級	9
大規模校	25～30学級	3	25～30学級	1
過大規模校	31学級以上	0	31学級以上	0

【参考】学校教育法施行規則
第41条 小学校の学級数は、**12学級以上18学級以下を標準とする。**

7 津市教員支援員の業務内容、人材、予算規模

業務内容

津市独自の支援

「学校徴収金に係る事務に関する事務」、「学校運営等に関する相談・助言」など、培ってきた行政経験を活かした支援が可能！

人材

○引き続き、津市教員支援員を希望する再任用職員（定年前・暫定）を積極的に任用

○新たに、全ての市職員早期退職者や再任用満了者を対象に、会計年度任用職員として任用

※行政経験者での確保が難しい場合は、公募で採用

予算規模

令和8年度予算案（概算） 25,824千円

●再任用職員（継続）	週4日×3校分	8,763千円
●会計年度任用職員（継続）	週4日×1校分	2,502千円
//	週2日×6校分	7,507千円
●会計年度任用職員（新規）	週2日×6校分	7,052千円

【参考】小学校の児童数、教員数等

【小学校・学級数降順】

令和7年度津市教員支援員配置校

No.	校名	児童数	学級数	正規教員配置数				
				校長	教頭	担任	担任外	計
1	西が丘	727	28	1	2	28	4	35
2	高茶屋	658	27	1	1	27	5	34
3	南が丘	676	26	1	1	26	3	31
4	千里ヶ丘	549	24	1	1	24	7	33
5	立成	542	24	1	1	24	3	29
6	誠之	505	23	1	1	23	4	29
7	新町	500	23	1	1	23	4	29
8	一志東	418	21	1	1	21	1	24
9	北立誠	390	20	1	1	20	3	25
10	一身田	432	19	1	1	19	2	23
11	成美	391	19	1	1	19	3	24
12	一志西	366	19	1	1	19	4	25
13	修成	331	19	1	1	19	9	30
14	戸木	397	18	1	1	18	2	22
15	芸濃	345	18	1	1	18	2	22
16	桃園	417	17	1	1	17	2	21
17	南立誠	346	16	1	1	16	2	20
18	豊が丘	300	16	1	1	16	2	20
19	育生	296	16	1	1	16	4	22
20	栗葉	297	15	1	1	15	3	20
21	白塚	230	14	1	1	14	4	20
22	敬和	226	14	1	1	14	5	21
23	藤水	242	13	1	1	13	2	17
24	養正	179	10	1	1	10	2	14

No.	校名	児童数	学級数	正規教員配置数				
				校長	教頭	担任	担任外	計
25	上野	197	9	1	1	9	2	13
26	安濃	179	9	1	1	9	1	12
27	神戸	175	9	1	1	9	2	13
28	片田	134	9	1	1	9	1	12
29	雲出	119	9	1	1	9	2	13
30	村主	119	9	1	1	9	2	13
31	大里	154	8	1	1	8	1	11
32	豊津	150	8	1	1	8	1	11
33	黒田	145	8	1	1	8	1	11
34	香良洲	135	8	1	1	8	3	13
35	安東	119	8	1	1	8	1	11
36	明合	109	8	1	1	8	1	11
37	大三	105	8	1	1	8	1	11
38	栗真	97	8	1	1	8	2	12
39	高野尾	53	6	1	1	6	1	9
40	倭	53	6	1	1	6	1	9
41	櫛形	50	6	1	1	6	1	9
42	美杉	33	6	1	1	6	0	8
43	川口	53	5	1	1	5	0	7
44	草生	40	5	1	1	5	0	7
45	明	37	5	1	1	5	0	7
46	家城	37	5	1	1	5	1	8
47	八ツ山	29	4	1	1	4	0	6
48	榊原	25	4	1	1	4	0	6
合計		12,107						

※ 令和7年5月1日現在の児童数、学級数、教員数

【参考】 中学校、義務教育学校の児童生徒数、教員数等

【中学校・学級数降順】

No.	校名	生徒数	学級数	正規教員配置数				
				校長	教頭	担任	担任外	計
1	久居	644	27	1	1	27	14	43
2	橋南	434	22	1	1	22	13	37
3	橋北	523	20	1	1	20	12	34
4	久居東	456	20	1	1	20	11	33
5	一身田	440	18	1	1	18	11	31
6	朝陽	472	17	1	1	17	10	29
7	南郊	389	17	1	1	17	9	28
8	一志	357	17	1	1	17	9	28
9	西郊	326	13	1	1	13	9	24
10	西橋内	328	12	1	1	12	9	23
11	南が丘	327	11	1	1	11	7	20
12	豊里	303	11	1	1	11	9	22
13	芸濃	228	10	1	1	10	7	19
14	東観	231	9	1	1	9	6	17
15	久居西	203	9	1	1	9	7	18
16	白山	176	9	1	1	9	6	17
17	東橋内	110	7	1	1	7	8	17
18	香海	80	5	1	1	5	4	11
19	美杉	28	4	1	1	4	4	10
20	国児分校	10	2		1	2	5	8
合計		6,065						

【義務教育学校】

No.	校名	児童・生徒数	学級数	正規教員配置数				
				校長	教頭	担任	担任外	計
1	みさとの丘	208	14	1	2	14	7	24

令和7年度津市教員支援員配置校

※ 令和7年5月1日現在の児童生徒数、学級数、教員数